

平成 29 年度 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		基準を満たすスペースと確保していますが、空いている他事業用のスペースを活用するなど使い方を工夫しています。
	2	職員の配置数は適切であるか		○		法令で定められた配置に加え、保育士・指導員を1人以上(常勤換算)配置しています。利用者の状況に適した配置に心がけています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務改善	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		定期的に会議を開き職員から業務改善についての提案等を出してもらっています。より多くの職員に積極的に参加してもらえるように工夫します。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		平成 29 年度より保護者等向け評価表を使って業務の改善に努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		平成 29 年度分から公表を行うことにしています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在は第三者による外部評価は行っていません。実施について今後検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		職員の意見を聞きながら定期的な見直しを行っていますが、利用者によってはプログラムの固定化を必要としている人もいます。利用者一人ひとりに合った支援を提供しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		支援終了後にはブリーフィングを行い、その日気付いた点について職員間の共通理解をはかっています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録のとり方についても研修を行うなど、記録の質の向上に努めます。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在は医療敵機ケアが必要な子どもは利用していません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		就学とつしよに利用開始となる利用者についてはサービス担当者会議等において保育所・幼稚園等との情報共有を図っています。。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		専門機関による研修の機会を設けます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		利用している子どもたちや保護者の希望を聞きながら検討します。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			日頃から保護者とのコミュニケーションを図り、困っていることなどに対して積極的にアドバイスをしています。また、研修などの情報提供をしています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現在は保護者会等はないので、保護者同士の連携を支援できる取り組みを検討します。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	事業所ニュースの発刊を検討します。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	法人による行事に地域住民を招いています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	策定してあるマニュアルを保護者にも周知する機会を設けます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	身体拘束の基準について保護者に説明し、放課後等デイサービス計画に記載するようにします。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			利用するにあたっては保護者に食物アレルギーの有無について確認しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			

平成 30 年 3 月実施